九州大学病院
〒812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1
TEL:092-642-5205 FAX:092-642-5008
Mail:ibskoho@jimu.kyushu-u.ac.jp
URL: https://www.hosp.kyushu-u.ac.jp/

PRESS RELEASE（2026/10/26）

新たな心不全治療の幕開け：iPS 細胞由来心筋細胞シート「リハート®」
2026 年 10 月 27 日（火）当院での第一例目手術が行われます。

心不全は、心臓のポンプ機能が低下し、全身に十分な血液を送り出せなくなる病態です。これまで薬物治療やカテーテル治療・外科手術が行われ、最重症の心不全の患者さんには、補助人工心臓治療や心臓移植も選択肢となります。こうした心不全治療の新たな選択肢として期待されるのが、**iPS 細胞由来心筋細胞シート「リハート®」**です。

リハートは、ヒト iPS 細胞から作製した心筋細胞をシート状に加工した再生医療等製品で、心臓の表面に移植することで心筋の機能改善を目指す新しい治療法です。従来の治療法では十分に改善が得られない虚血性心筋症による重症心不全患者を対象とします。九州大学病院では、2023 年に九州で初となるヒト iPS 細胞由来心筋細胞シート移植術を臨床試験として実施し、以来再生医療による重症心不全治療の臨床応用にも取り組んできました。2026 年 9 月より同治療が保険収載され、既報の通り 9 月 29 日に世界初の移植術が国内で実施されました。九州大学病院でも、保険診療としての同治療を開始いたします。2026 年 10 月 27 日（火）第一例目の手術を行います。

iPS 細胞を用いた再生医療は、これまで有効な治療選択肢が限られていた患者さんに対して、新たな可能性をもたらすことが期待されます。九州大学病院では、これまでの専門治療に先進的な再生医療を融合させた新たな重症心不全治療を提供してまいります。

図１：ヒト iPS 細胞から移植術までの流れ

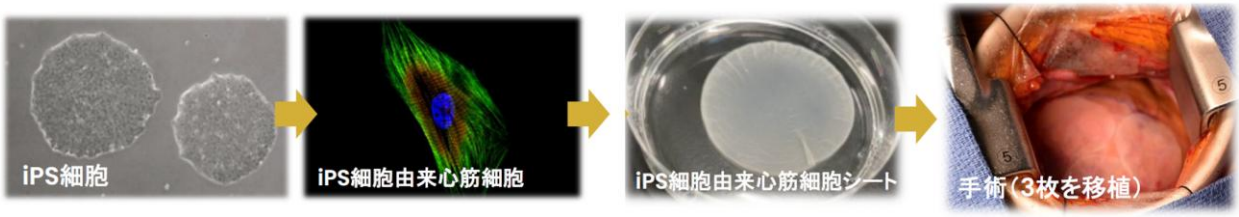
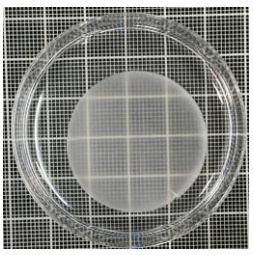
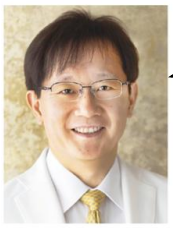


図２：移植前のヒト iPS 細胞由来心筋細胞シート（細線目盛りが 1㎜、太線目盛りが 1㎝）





重症心不全に対する低侵襲な治療の選択肢として、新たに「リハート」が加わりました。患者さん一人ひとりの状態に合わせ、適切な治療を提供してまいります。

治療担当責任者：塩瀬明　教授

〈用語説明〉

iPS 細胞（人工多能性幹細胞）

さまざまな種類の細胞に分化する能力を持つ細胞。様々な再生医療への応用が進められています。

虚血性心筋症

心筋梗塞などにより心臓の筋肉が不可逆的に障害され、心臓の収縮機能が低下した状態。重症化すると心不全症状により日常生活に大きく支障がでてきます。

Kyushu University VISION 2030
総合知で社会変革を牽引する大学へ

【お問い合わせ】 九州大学病院　心臓血管外科
TEL：092-642-5557　FAX：092-642-5566
Mail： office@med.kyushu-u.ac.jp